



篠路まちづくりテラス和氣藍々
責任者 須藤 結香 さん

利用者は
お客さんではなく
「一緒につくっていく人」

障がいのある方が生き生きと働ける場として、地域のつながりを生むまちづくりの拠点として、誰もが心地よく過ごせる「みんなのおうち」を目指す「篠路まちづくりテラス和氣藍々」をご紹介します。

「和氣藍々」

毎日心を込めて手作りしている手打ちうどんが人気♪

誰もが自分らしく活躍できる場として

篠路まちづくりテラス和氣藍々はNPO法人ワーカーズコープが運営するコミュニティカフェです。札幌市障がい者協働事業所であり、誰もが活躍できる場になっています。

「とても個人的で苦手なことも多い私たちですが、お互いに補いながら運営しています」と話すのは責任者の須藤さん。釜谷白駅（現・あいの里公園駅）の駅名標が飾られているなど、歴史を感じられる店内で、看板メニューの手打ちうどんやシフォンケーキを味わったり、地元の野菜や手作りの雑貨を購入できる和氣藍々。地域のボランティア団体が子どもたちへの支援として開催す



約5年前、篠路駅周辺の開発が進められることが話題になった当時、地域からは「みんなが気軽に集まりご飯が食べられる場所」「篠路の歴史を伝えられる拠点」が欲しいとの声が上がりました。「まちに必要なものは自分たちでつくろう」と考えたワーカーズコープのスタッフやこの思いに賛同した地域の人々とともに和氣藍々は完成しました。備品の提供や花壇



作りなど、支援してくれた人の名前を書いた「ありがどうの木」を店内に置いていきます。

「みんなのおうち」でありたい

和氣藍々には、学校帰りの小学生が水を飲みに来たり、寒い中バスを待つ人が暖をとりに来たり、気軽にふらりと立ち寄る人が多いといえます。飲食店の枠にとられないことが、人々が集まり、まちづくりの拠点となるゆえんだと須藤さんは考えています。「訪れる方も、スタッフにとっても、自宅のように居心地のよい場所にしていきたい」と須藤さんは今後の抱負を語ってくれました。



営業時間 10:00～17:00(月曜定休)
篠路4条9丁目15-10
☎ 011-788-3146